

2023 年度事業計画

(一社)日本身体障害者アーチェリー連盟

1, 強化関連事業

今年度の最大の目標は7月にチェコにて開催される2024パリパラリンピック大会(以下、「パリパラ」という)の枠取り大会において、出場するカテゴリー全枠を獲得することである。また、延期となったアジアパラ競技大会(中国/杭州)が10月22日~28日で開催予定であり、パリパラの前年で総合競技大会に選手を派遣することはパリパラに向けた良い経験となり、総合競技大会という独自の大会運営(選手村や決められた数の役員しか帯同できないことなど)の中で如何に勝ち切ることができるかを検証していく上でも重要な大会の一つとして考えている。また、強化指定選手スタッフに対する人間教育としてJPCが掲げている「人間力なくして、競技力向上なし」というスローガンを基に選手含めた日本代表チーム全体の教育を図る。

【国際大会派遣(予定)】 JPC強化事業

連盟の強化方針でもある「参加するすべての国際大会において継続的なメダル獲得」を目指す。

対象者:強化指定選手且つ強化普及委員会・選手等選考委員会・理事会にて承認された選手

- ①ヨーロッパアンカップ(チェコ):5月13日~21日 ※派遣済み
- ②世界選手権大会(チェコ):7月18日~23日
- ③アジアパラ競技大会(中国/杭州):10月22日~28日
- ④アジア選手権大会(タイ/バンコク):11月19日~28日

【国内事業】

1, 主催大会 (一部 JPC強化事業)

- ①第9回JPAF杯パラアーチェリートーナメント大会 9月10日(日) 於 埼玉県障害者
- ②第52回文部科学大臣杯争奪全国身体障害者アーチェリー選手権大会(フェニックス杯) 11月5日(日) 於 大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)

2, 後援大会(予定)

- ①近畿・東海身体障害者アーチェリー大会

- 4月16日 大阪府堺市 浜寺運動公園アーチェリー練習場
- ②第47回のじぎく杯アーチェリー大会
- 5月21日 兵庫県神戸市 しあわせの村アーチェリー場
- ③九州身体障害者アーチェリー大会
- 5月21日（鹿児島全スポリハーサル大会と同時開催）鹿児島県鹿児島市 鹿児島スポーツふれあいランド
- ④交流アーチェリー大会 兼 関東甲信越身体障害者アーチェリー選手権大会
- 7月9日 埼玉県さいたま市 埼玉県障害者交流センター
- ⑤七沢杯アーチェリー競技大会
- 8月26日・27日 神奈川県厚木市 神奈川県総合リハビリテーションセンター アーチェリー場
- ⑥第46回火の国杯争奪九州身体障がい者アーチェリー大会
- 9月10日（日） 熊本県菊陽町 菊陽町杉並木公園特設アーチェリー場
- ⑦関西マスターズゲームズ2023記念 第18回和歌山県障害者ふれあいインドアアーチェリー大会
- ⑧11月12日（日） 和歌山県和歌山市 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター体育館

3. 協力大会

日本バラスポーツ協会からの依頼により、技術指導員を派遣する大会

- ①全国障害者スポーツ大会リハーサル大会（鹿児島 5/22）
- ②第23特別回全国障害者スポーツ大会（鹿児島 10/29～10/30）

4. 国内合宿 ※対象者：強化指定選手（JPC強化事業）

- ①第1回全日本合宿（NTC）：6月6日～10日 ※実施済み
- ②第2回全日本合宿（NTC）：9月7日～9日
- ③第3回全日本合宿（普及含む）：追加予算が確保できた場合には実施予定
- ④第4回全日本合宿（NTC）：追加予算が確保できた場合には実施予定
- ※③については、普及事業とあわせて実施予定

2, 普及啓発・育成関連事業

①J-STAR (JPC 強化事業)

2022 年度から参加している。発掘事業に継続して参加予定、かつ、第 6 期検証プログラム進出選手の育成を地元の協力の下進める。

②体験会 (一部、日本財団パラスポーツサポートセンタ助成金事業)

普及イベント活動及び強化合宿(地方)内で実施する普及活動を行うことなどを予定している。

③パラアーチェリー全国調査(一部、日本財団パラスポーツサポートセンタ助成金事業)

②と並行し、日本のパラアーチェリーを発展させるために現状調査を行い、課題に対する解決を図ってゆく。

④クラス分け関連

主催 2 大会においてクラス分け実施予定。

3, 体制整備関連事業

①各委員会活動

「総務・広報委員会」、「技術委員会」、「クラス分け委員会」、「強化・育成委員会」、「地域開発委員会」、「コンプライアンス委員会」、「アンチドーピング委員会」の各専門委員会の活動をより活発にしてゆく。

②スポンサー獲得事業

・パラ団体合同スポンサー獲得プロジェクトに参画しており、2022 年も継続して活動を行う。可能であれば今年度リリース予定。

・連盟単体としては、今年度も厳しいとは思いますが、1 社を目標としたい。選手の活躍やアーチェリー・パラアーチェリーの魅力を積極的に発信してゆく。

③広報活動

昨年に引き続き、各種 SNS を有効活動してゆく。